

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

A & Dホロンホールディングス

証券コード 7745

<ご注意>

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

| Contents

1 2024年3月期第3四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第3四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 15
4 株主還元	P 19
5 APPENDIX (中期経営計画)	P 21

2024年3月期3Q

引き続き前年同期比増収増益で推移
通期予想に対する進捗率も前年同期を上回る

- 半導体関連事業は、当社グループ製品への需要が堅調に推移し、利益面では生産性向上、グループ調達による原価低減が図られ、全体業績を牽引
- 医療・健康機器事業は、米州が順調に推移するものの、欧州における為替の影響が大きく前年同期比減収減益
- 計測・計量機器事業は、米州の設備投資需要の低迷継続により、計量機器、DSPシステム共に低調

2024年3月期予想

売上高 620億円 前期比 + 5.0%
営業利益 78億円 前期比 + 4.3%

- 事業ごとの進捗に差はあるものの、全体では売上高、営業利益共に通期予想通りを見込む
- ロシア・ウクライナ情勢悪化によるリスクおよび材料価格高騰の影響等リスクについても予想に織り込み済

| Contents

1 2024年3月期第3四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第3四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 15
4 株主還元	P 19
5 APPENDIX (中期経営計画)	P 21

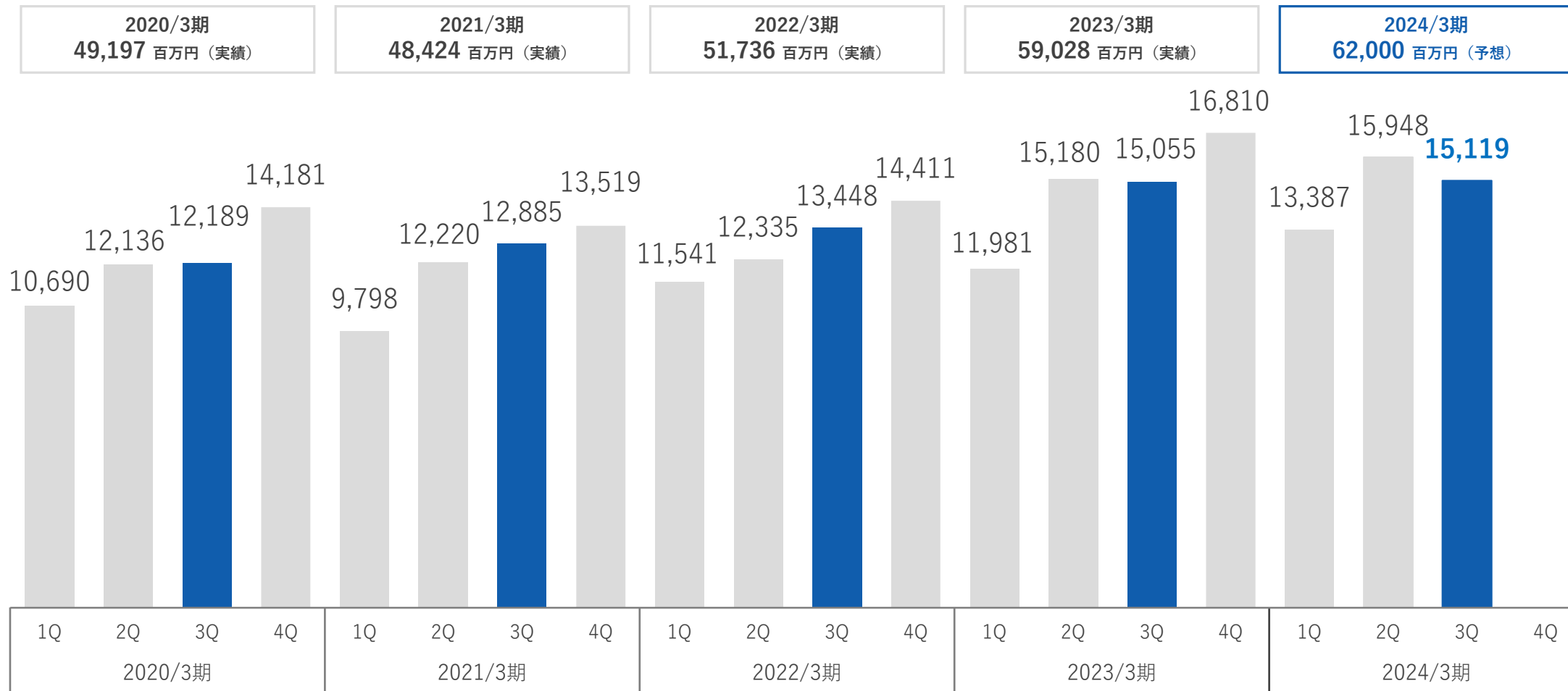
前年同期比で売上高 + 5.3%、営業利益 + 9.5%と引き続き増収増益で推移
半導体関連事業が大きく伸長し全体の営業利益を牽引

(単位：百万円)	2023/3期3Q		2024/3期3Q		増減額	前年同期比
		率		率		
売上高	42,217	—	44,455	—	2,237	+5.3%
売上原価	23,432	55.5%	24,647	55.4%	1,215	+5.2%
売上総利益	18,785	44.5%	19,807	44.6%	1,021	+5.4%
販売費及び 一般管理費	14,056	33.3%	14,628	32.9%	572	+4.1%
営業利益	4,729	11.2%	5,179	11.7%	449	+9.5%
経常利益	4,873	11.5%	5,291	11.9%	418	+8.6%
税引き前利益	4,868	11.5%	5,282	11.9%	414	+8.5%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,523	8.3%	3,634	8.2%	110	+3.1%
1株当たり 四半期純利益 (円)	128.43	—	132.30	—	3.87	—

四半期別売上高の推移

第3四半期会計期間においても過去最高の四半期売上高を継続

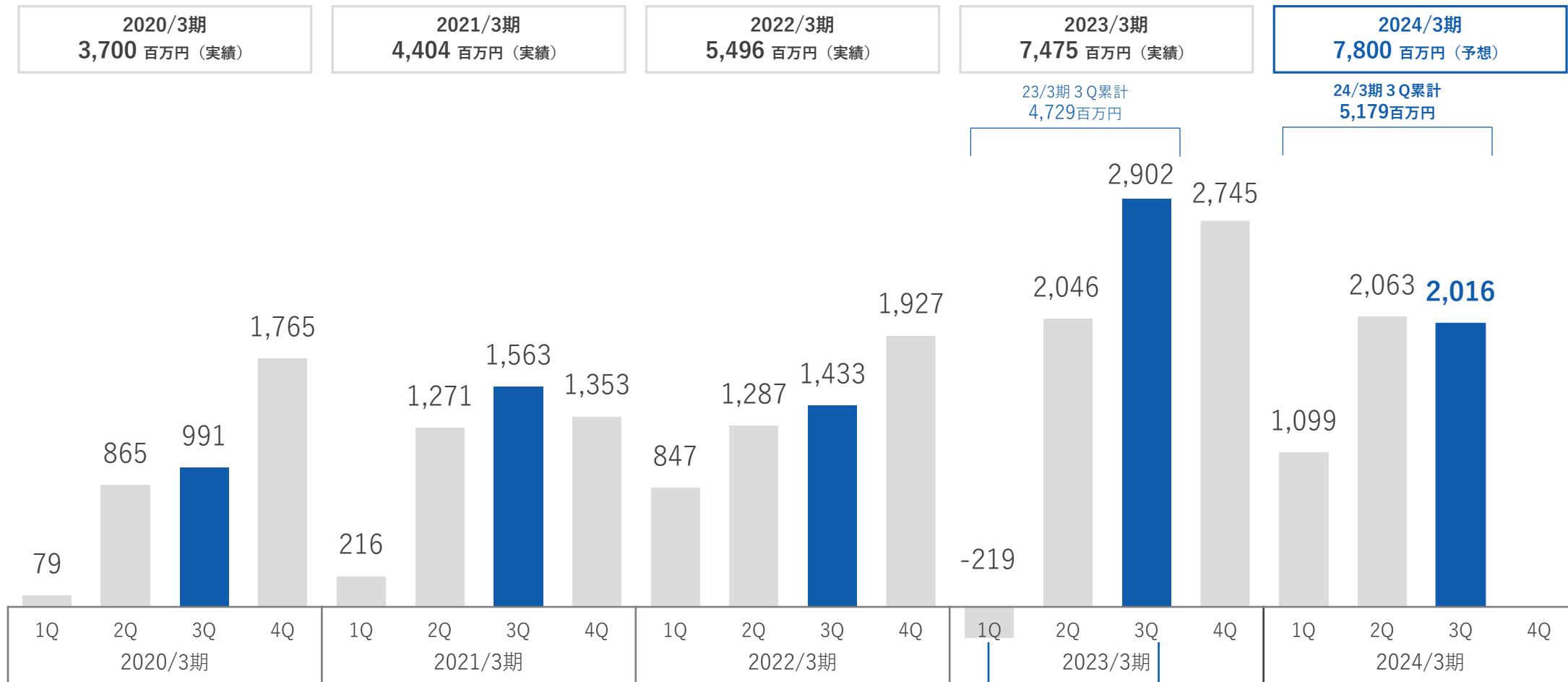
(単位：百万円)



四半期別営業利益の推移

第3四半期会計期間の四半期営業利益は前年同期比減益も、累計営業利益は前年同期比増益で推移

(単位：百万円)

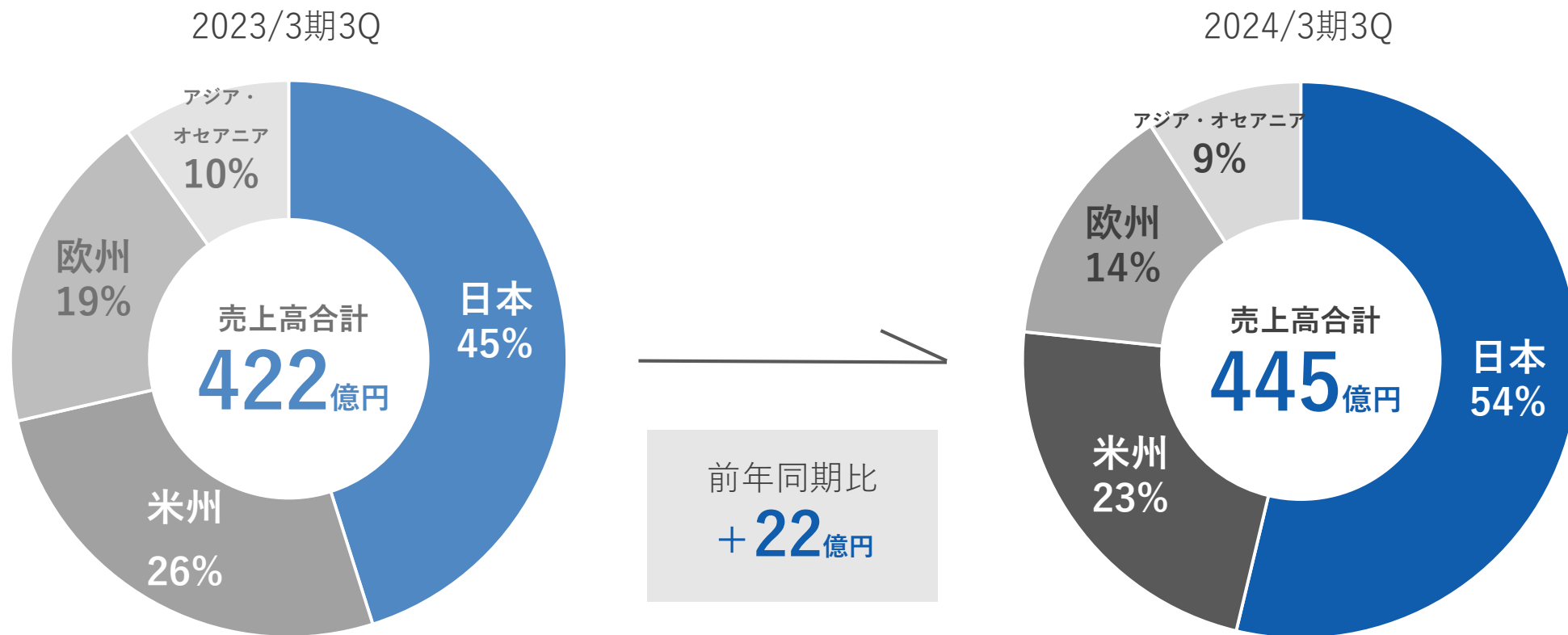


急激な円安の影響により
未実現利益による影響額
約10億円発生

原価抑制効果により
利益が大幅増

地域別売上高の割合

日本において半導体関連事業が牽引し、全体売上は前年同期比増
 海外売上高の減少は主に米州の設備投資抑制と欧州の為替が影響



(単位：百万円)	2023/3期3Q	構成比	2024/3期3Q	構成比	前期比
日本	19,046	45.1%	23,884	53.7%	+8.6%
海外	23,171	54.9%	20,570	46.3%	-8.6%

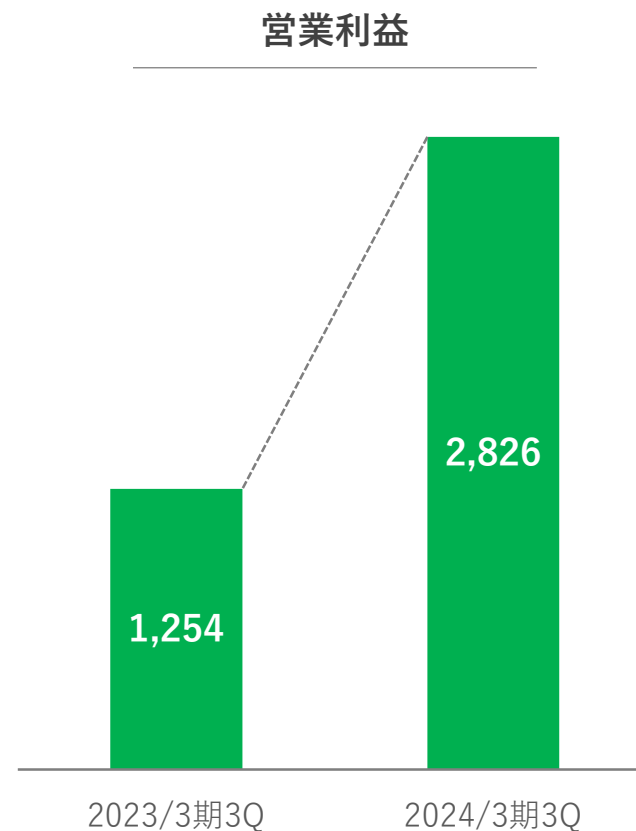
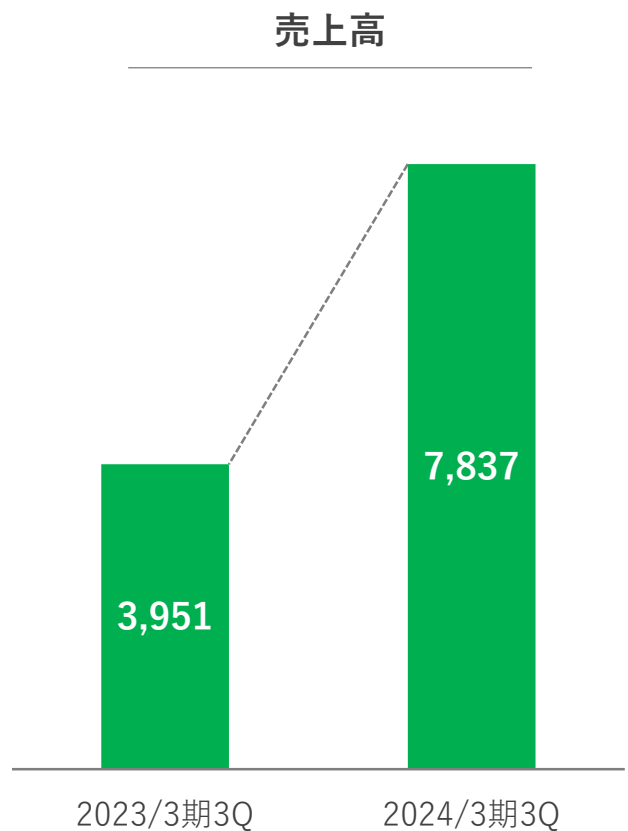
| Contents

1 2024年3月期第3四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第3四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 15
4 株主還元	P 19
5 APPENDIX (中期経営計画)	P 21

売上高 前年同期比 +98.3%、営業利益 前年同期比 +125.4% 大幅増収増益を継続

- 受注は引き続き堅調に推移、受注残への遅延要請等も無く、製造・出荷ともに顧客要求に対応
- 生産性の向上やグループ調達による原価低減により、利益率向上も継続（23/3期3Q:31.7% → 24/3期3Q:36.1%の4.3ptUP）

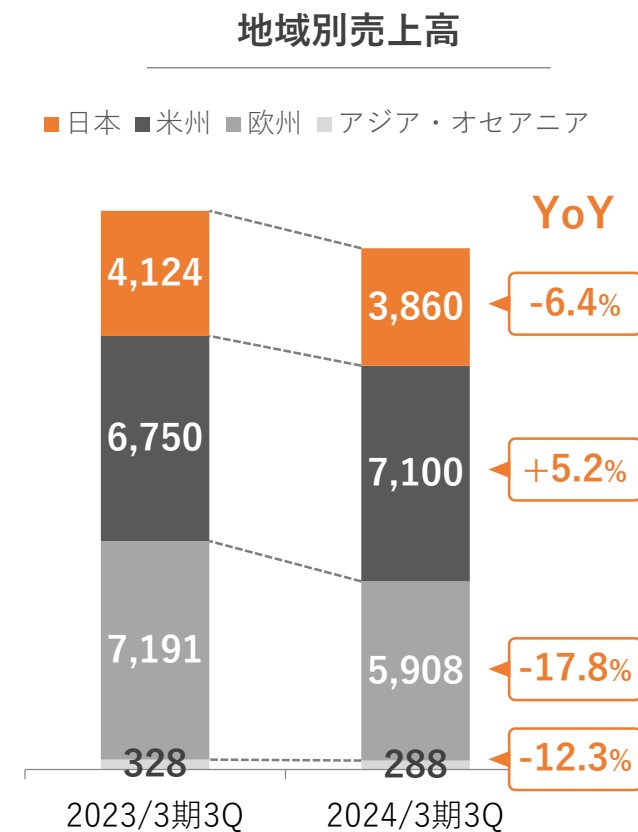
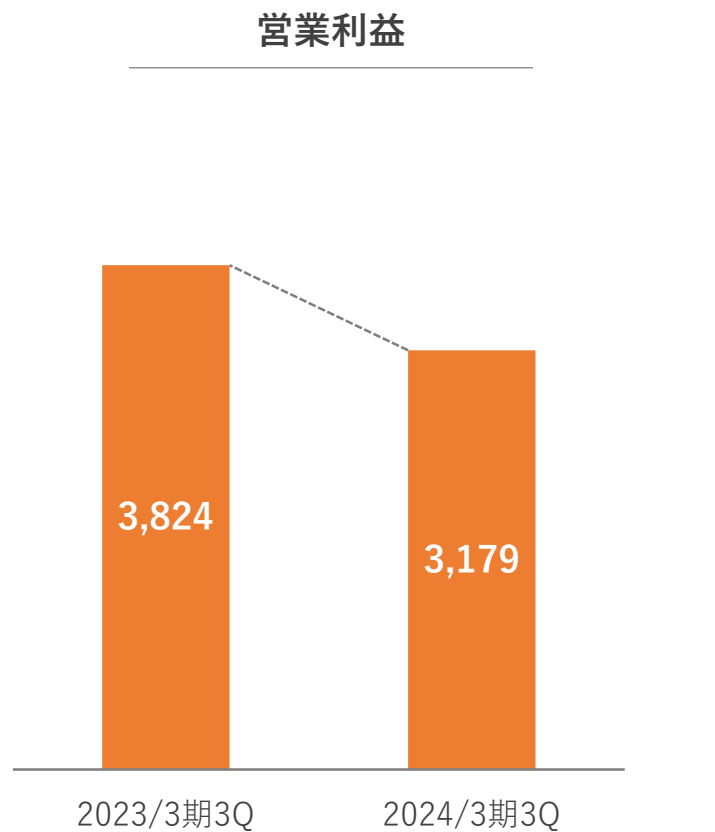
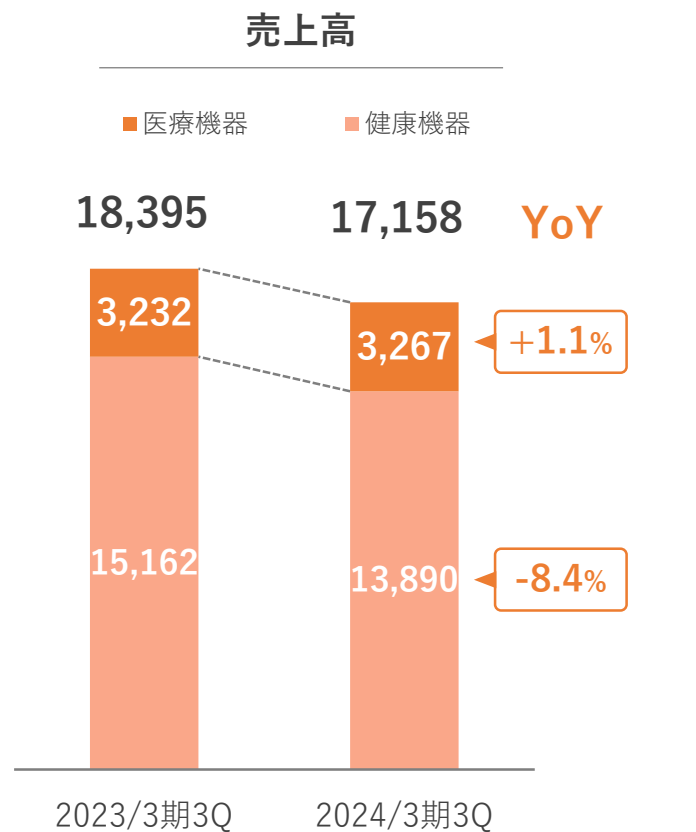
（単位：百万円）



顧客・地域ごとの需要の濃淡及び為替の影響が大きく、前年同期比減収減益

- 日本** 医科向け製品が前年並みで推移したものの、大口顧客向け家庭用血圧計の需要回復遅れにより、売上、利益ともに減少
- 米州** 引き続き米国での家庭用血圧計の需要が好調に推移、大口案件を中心に売上増加、輸送費抑制や製品ミックスによって利益も増加
- 欧州** 現地シェア維持により現地通貨建てでの売上は堅調に推移したものの、為替の影響が大きく円換算後の売上、利益ともに減少

(単位：百万円)

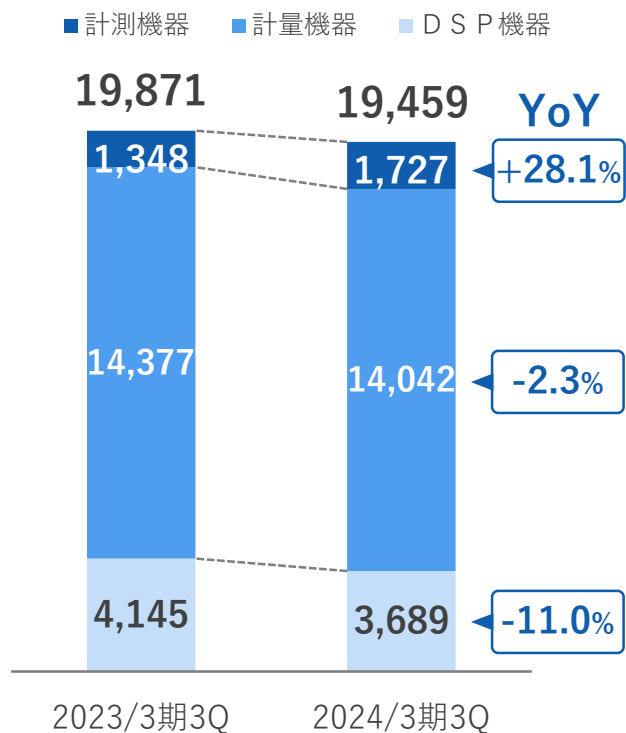


海外の設備投資需要抑制状況のなか、売上高は前年同期比-2.1%まで回復したものの営業利益は低調推移

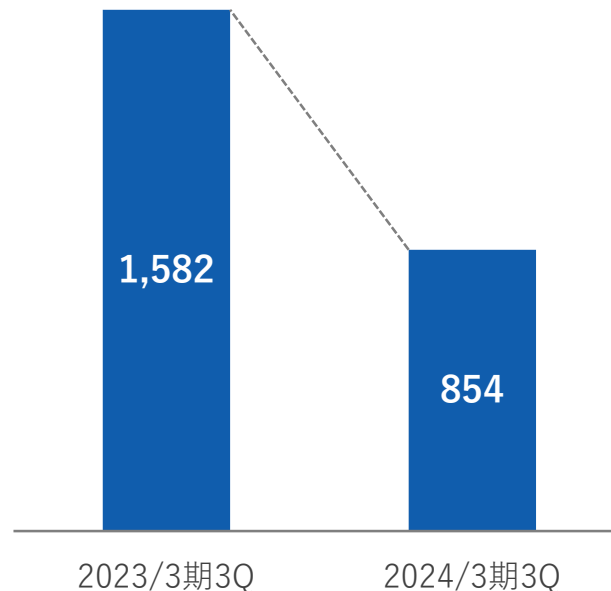
- 日本** 計量機器における供給量増加及び産業用設備投資需要の継続に伴う大型の試験装置の出荷が寄与したことで売上は増加、利益は原材料高及び為替の影響などに伴う原価率悪化によって減少
- 米州** 主力の計量機器における前年度の特需からの反動減継続に加え、金利政策による設備投資需要の低迷継続から計測・制御・シミュレーションシステム（DSPシステム）が低調に推移
- アジア・オセアニア** 中国における計測機器、インドにおける計量機器の需要回復の遅れにより、売上、利益ともに減少

(単位：百万円)

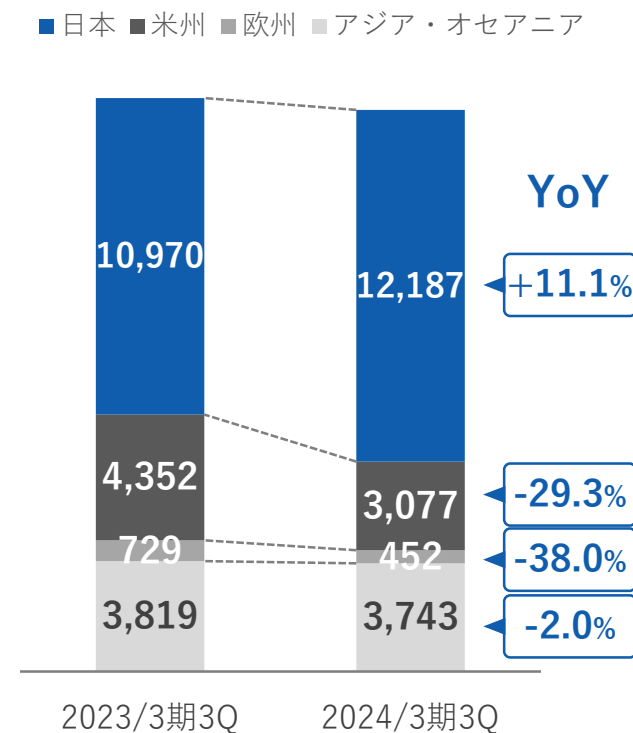
売上高



営業利益



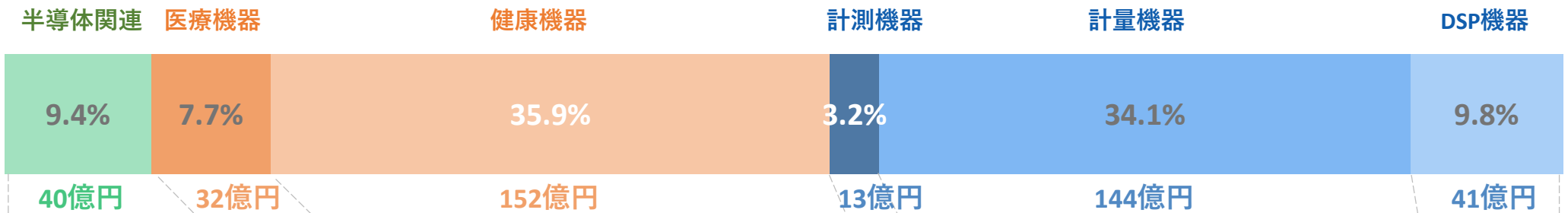
地域別売上高



事業別売上高構成

■ 半導体関連 ■ 医療機器 ■ 健康機器 ■ 計測機器 ■ 計量機器 ■ DSP機器

23/3期 3Q
422億円



24/3期 3Q
445億円



フォトマスク用CD-SEM



全自動血圧計



家庭用血圧計



引張・圧縮試験機



分析用電子天秤



車載統合計測システム (VMS)

(ご参考) 事業別業績

	23/3期 3 Q 累計	24/3期 3 Q 累計	前年同期比
売上高	42,217	44,455	+5.3%
半導体関連	3,951	7,837	+98.3%
医療・健康機器	18,395	17,158	-6.7%
計測・計量機器	19,871	19,459	-2.1%
売上原価	23,432	24,647	+5.2%
半導体関連	1,685	3,279	+94.6%
医療・健康機器	9,734	9,240	-5.1%
計測・計量機器	11,335	11,666	+2.9%
販管費	14,056	14,628	+4.1%
半導体関連	1,011	1,730	+71.1%
医療・健康機器	4,835	4,737	-2.0%
計測・計量機器	6,953	6,938	-0.2%
営業利益※	4,729	5,179	+9.5%
半導体関連	1,254	2,826	+125.4%
医療・健康機器	3,824	3,179	-16.9%
計測・計量機器	1,582	854	-46.0%

| Contents

1 2024年3月期第3四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第3四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 15
4 株主還元	P 19
5 APPENDIX (中期経営計画)	P 21

事業別環境	
半導体関連事業	2024年3月期は半導体市場の減速が懸念されるが、微細化や3次元化、EV用パワー半導体などの技術革新により 中長期的に新たな需要が高まる見込み 米国による中国向け輸出規制強化などの環境変化には注視が必要
医療・健康 機器事業	医療機器 医療のデジタル化推進及び医療インフラ整備に伴う 中期的な投資拡大により需要は増加傾向
	健康機器 個人での健康意識の高まり及びデジタル化推進に伴い ICT健康機器の需要増加、引き続き日本及び米州での需要増を見込む ただし、米国でのインフレ進行による消費者意識の変化には注視が必要
計測・計量 機器事業	計測機器 産業用設備投資の回復に伴い 計測機器需要も増加傾向を期待するものの、米州での金利政策による設備投資需要低迷継続への対応が必要
	計量機器 計量機器は、二次電池製造をはじめとする EV関連投資拡大に伴う生産設備用の需要は地域による差が出ているものの、中長期的に拡大すると予想
	DSP機器 CASEを中心とした新規技術への投資拡大 カーボンニュートラルへの対応加速のため、 EV関連の中長期的な投資拡大継続により需要は増加傾向

売上高 前期比 +5.0%、営業利益 前期比 +4.3%と増収および営業利益増を見込む

当社グループ業績推移は従前より下期の割合が大きく、3Q時点の進捗率は例年並み、前年同期を上回り推移

ロシア・ウクライナ危機、米中貿易摩擦等の地政学的リスクや材料価格高騰の影響等のリスクも織り込み済

(単位：百万円)	2023/3期実績	2024/3期予想	増減率	(ご参考)	
				24/3期 3Q業績	進捗率
売上高	59,028	62,000	+5.0%	44,455	71.7%
営業利益	7,475	7,800	+4.3%	5,179	66.4%
経常利益	7,643	7,450	※-2.5%	5,291	71.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,524	5,110	※-7.5%	3,634	71.1%
1株当たり当期純利益 (円)	201.33	186.15	-15.18	132.30	—

想定為替レート：1米ドル130円、1露ルーブル1.7円

(単位：百万円)

	2023/3期 (実績)	2024/3期 (予想)	増減率
半導体関連事業	6,916	8,200	+18.6%
医療・健康 機器事業	医療機器	4,360	+7.8%
	健康機器	20,150	-6.2%
	小計	24,511	-3.7%
計測・計量 機器事業	計測機器	2,439	+17.2%
	計量機器	19,151	+5.3%
	DSP機器	6,009	+19.3%
	小計	27,600	+9.4%
売上高合計	59,028	62,000	+5.0%

半導体関連事業

- 好調な半導体業界の需要に対応すべく、新製品開発推進、グループシナジー効果を追求し、更なる顧客開拓を図り業績の拡大を目指す

医療・健康機器事業

- 医療機器：主力製品である全自動血圧計、24時間携帯型血圧計の市場シェア拡大および医療用体重計等の販売地域の拡大を目指す
- 健康機器：遠隔医療等に対応するアプリケーション及び製品ラインナップの拡充を図ると共に、業務提携先との連携を深め市場シェア拡大を目指す。為替による変動の影響が大きく減収で見込む

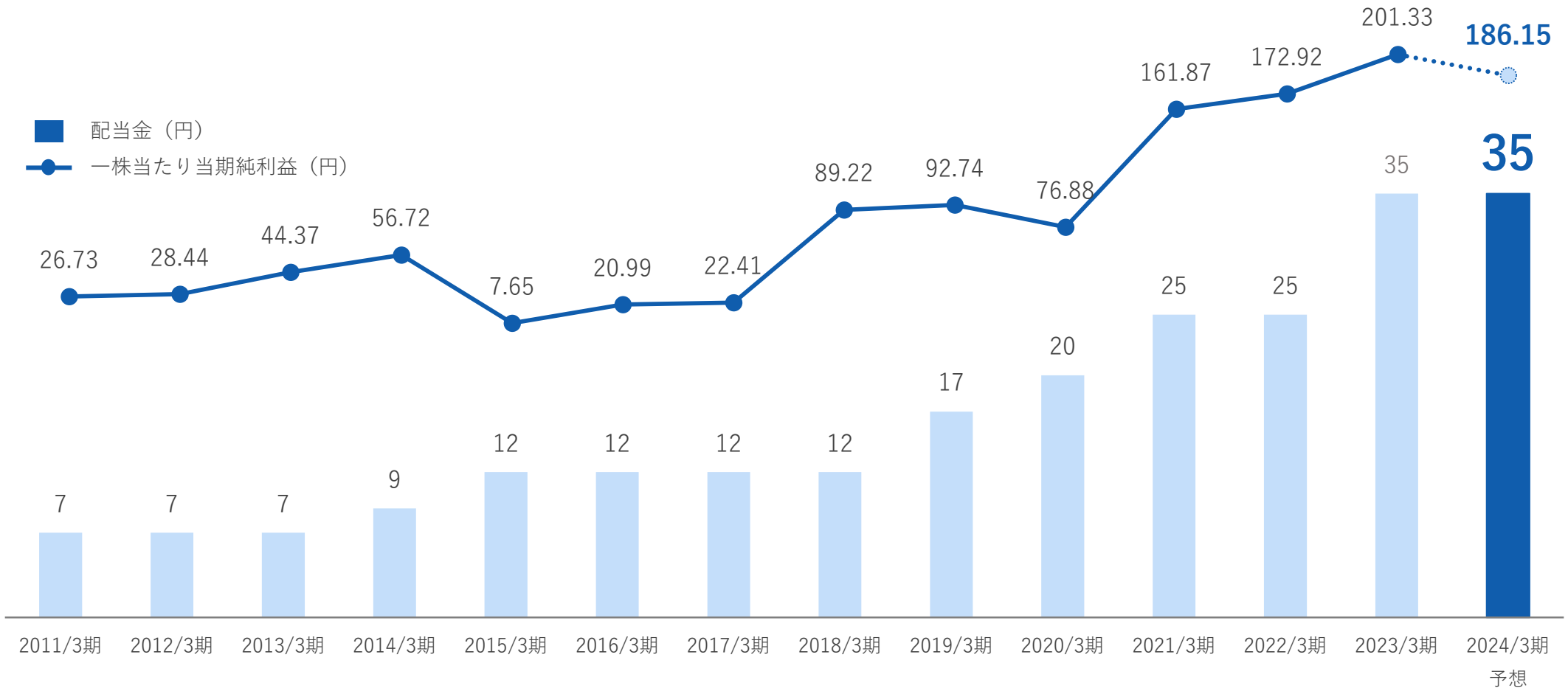
計測・計量機器事業

- 計量機器：市場要求に対応した製品開発を推進すると共に、各国の規格に対応し市場シェアの拡大を目指す
- DSP機器：需要の拡大を捉え、自社開発に留まらず、他社との共同開発を推進し新規技術にも積極的に対応

| Contents

1 2024年3月期第3四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第3四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 15
4 株主還元	P 19
5 APPENDIX (中期経営計画)	P 21

2024年3月期の年間配当（予想）は2023年3月期と同額の35円

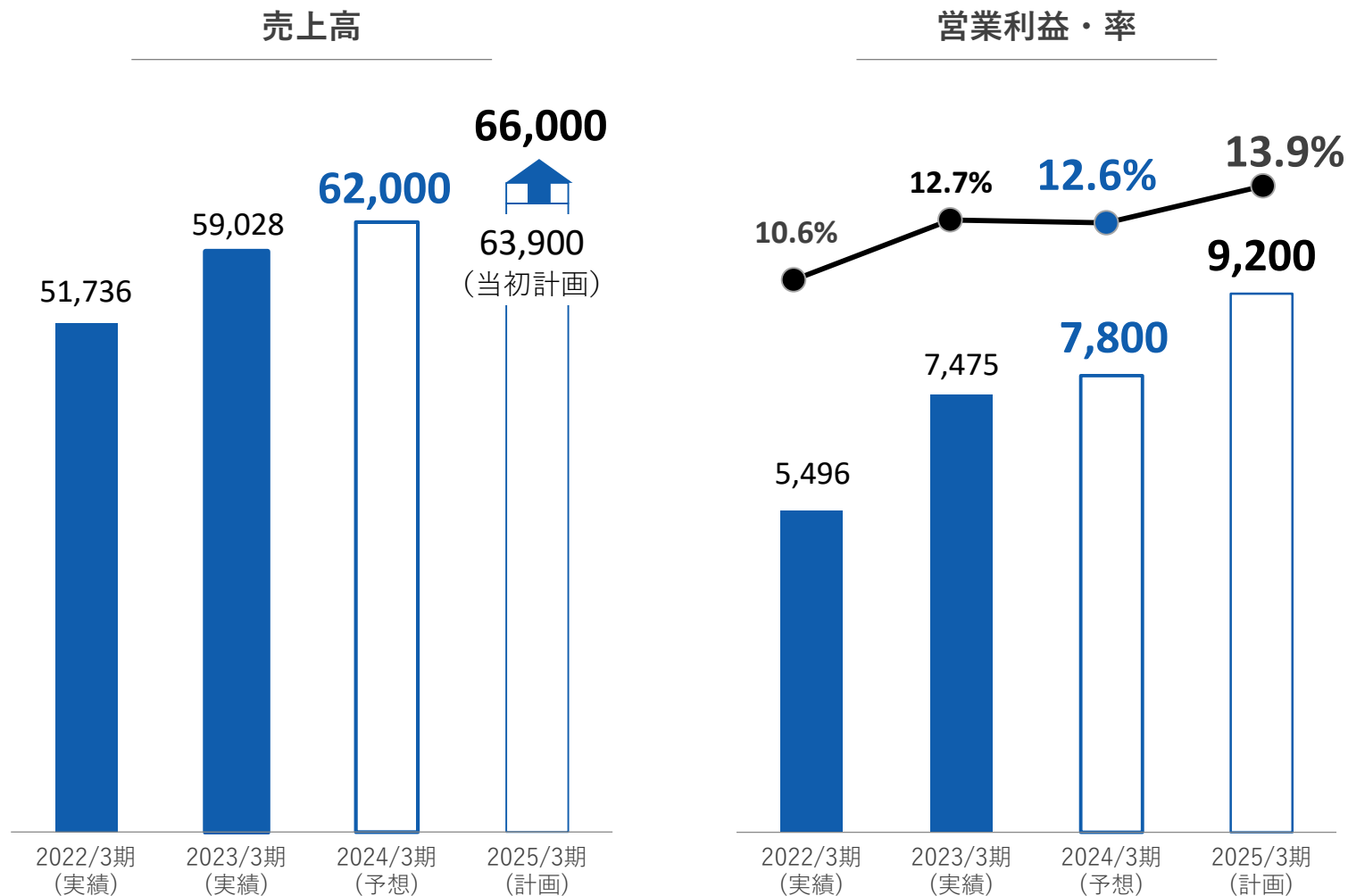


| Contents

1 2024年3月期第3四半期 決算概要	P 4
2 2024年3月期第3四半期 セグメント別業績	P 9
3 2024年3月期 業績予想	P 15
4 株主還元	P 19
5 APPENDIX (中期経営計画)	P 21

好調な受注状況を背景に2025年3月期の売上高計画を上方修正、営業利益は当初計画通り

(単位：百万円)



2025年3月期

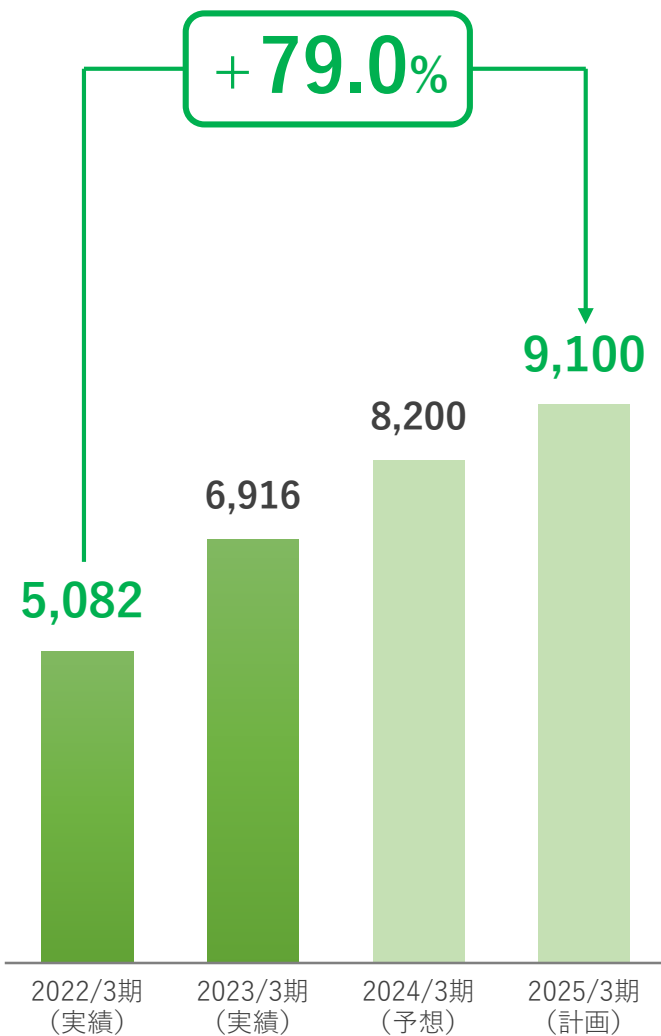
売上高
2022/3期比
+ 27.6%

営業利益
2022/3期比
+ 67.4%

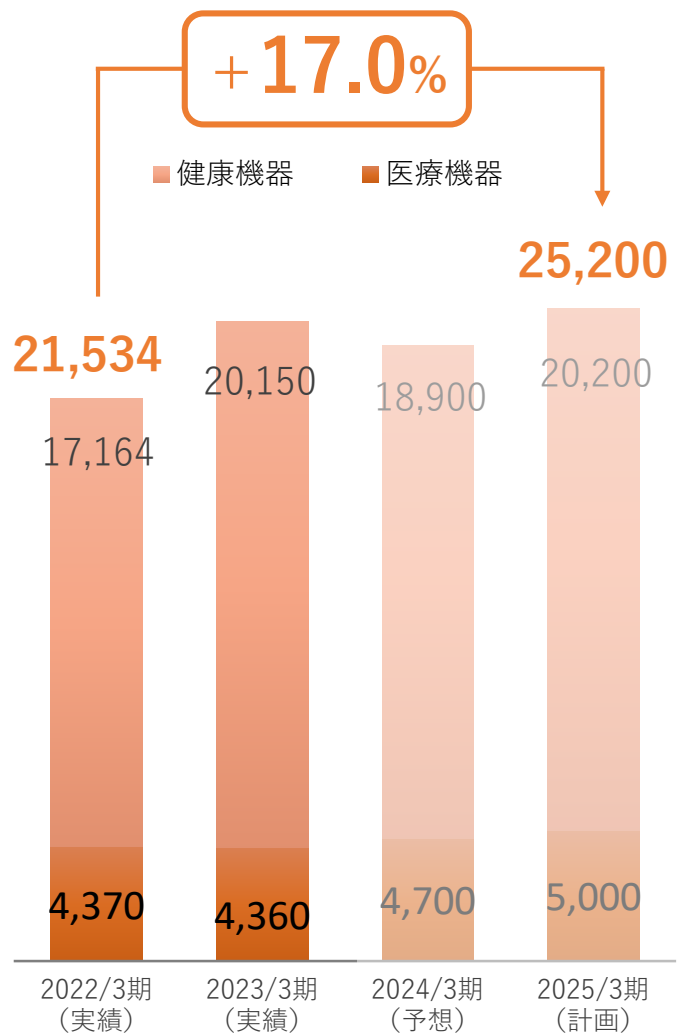
中期経営計画数値目標 セグメント別売上高

(単位：百万円)

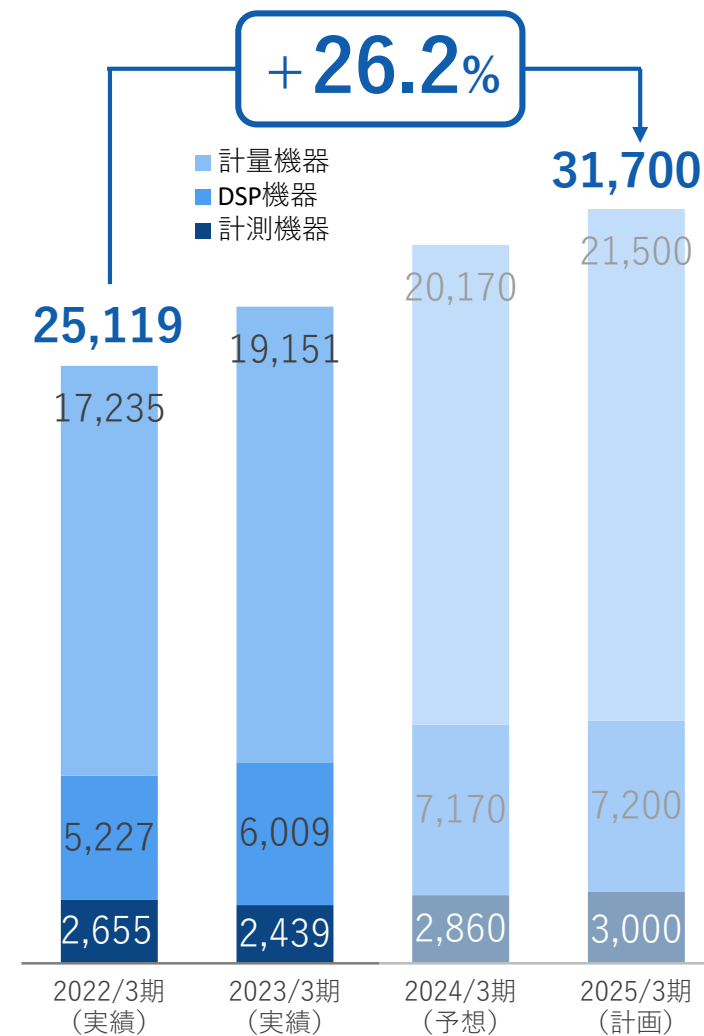
半導体関連事業



医療・健康機器事業



計測・計量機器事業



わたしたちは、長年培ってきた「はかる」技術を社会に提供することを通じて、科学技術の発展、産業の高度化、人々の健康な生活に寄与し、豊かで持続的な社会づくりにグローバルに貢献する企業グループを目指します。



「はかる」をコアとした技術革新

AND

HOLON

A&Dホロンホールディングス



A&Dホロンホールディングス
IRサイトは[こちら](#)から